

とよなか市民環境会議



Toyonaka Citizens Environmental Conference

1997 (平成9) 年秋号 (通巻第3号)

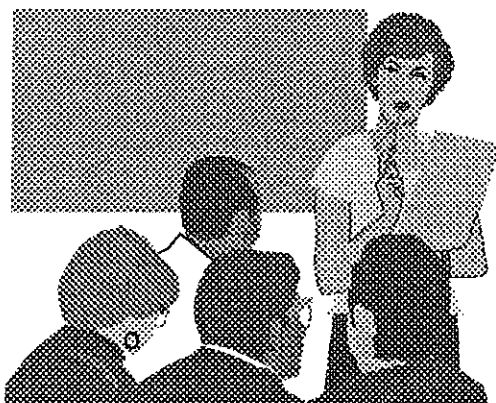
特集 豊中アジェンダ 21

「豊中アジェンダ 21」って何やねん？

わがまち豊中では、昨年5月に市内150団体からなる「とよなか市民環境会議」が発足しました。

市民環境会議では、これまでワーキンググループを中心に、学習会やワークショップを開催するなど、毎月1回のペースで環境問題について取り組んできました。

いっぽう、豊中市では今年の6月から8月にかけて、「豊中環境塾」(全6回)を開催し、環境に配慮した暮らし方・交通・企業活動などについて考えるとともに、現地見学会も開催されました。



そしていよいよこの9月から、とよなか市民環境会議では、当初の活動方針どおり、「ローカルアジェンダ 21」づくりに向けて本格的にスタートをきることになりました。

そこで今回は、ふだんあまり耳なれない「アジェンダ 21」とはなにか、今なぜ「アジェンダ 21」をつくる必要があるのかなどについて、いっしょに考えてみたいと思います。

1. アジェンダ 21

アジェンダ (agenda) とは、そもそもどういう意味でしょうか。アジェンダとは、「課題」、「今から取り組んでいくべき課題一覧」のことであり、「アジェンダ 21」とは、「21世紀にむけての課題」という意味で用いられています。

今からおよそ5年前、1992年(平成4年)6月、リオ・デ・ジャネイロにて「地球サミット(環境と開発に関する国連会議/UNCED)」が開催されました。このサミットでは、「環境と開発に関するリオ宣言」、「森林に関する原則声明」、「アジェンダ 21」という3つの文書が合意されました。

このうち「アジェンダ 21」は、「環境と開発に関するリオ宣言」で定められた諸原則を実行するための21世紀に向けての行動原則です。アジェンダ 21の内容は、広範多岐な分野にわたり、全体で40章、約500ページにもおよぶものとなっています。

アジェンダ 21では、地方自治体が「持続可能な発展」の実現に果たす役割の大きさにかんがみ、市民、地域団体や企業と対話して、アジェンダ 21の地方版である「ローカルアジェンダ 21」に関する合意を得るべきことを求めています。

本号のハイライト

- P.1 「豊中アジェンダ 21」って何やねん？
- P.4 平成9年度 とよなか市民環境会議総会
- P.6 「豊中環境塾」盛況のうちに閉幕！
- P.7 「地球にやさしいことチャレンジ」の結果報告

持続可能な発展



アジェンダ 21



豊中アジェンダ 21

2. 豊中アジェンダ 21

(地球環境を守るとよなか市民行動計画)

(1) 地球規模で考え、豊中から行動しよう!

とよなか市民環境会議でも、ローカルアジェンダ 21 としての「豊中アジェンダ 21 (地球環境を守るとよなか市民行動計画)」を平成 10 年途中で策定することをめざしています。

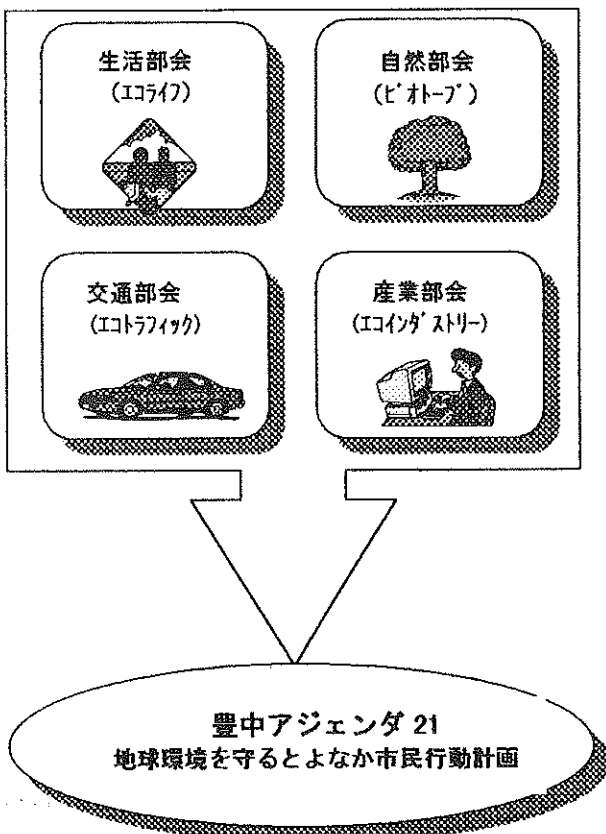
地球環境を守るために、市民・企業・行政が参加・協力し、豊中の 21 世紀に向けた自主的な行動計画をつくろうというものです。

これまで市民環境会議のワーキンググループを中心に、豊中アジェンダ 21 策定作業部会の発足にむけて準備作業を進めてきました。そしていよいよこの 9 月に正式に作業部会が発足するはこびとなりました。

豊中アジェンダ 21 作業部会は、「産業活動」、「交通運輸」、「生活様式」、「自然環境」という 4 つの分野にわかれています。それぞれ「産業 (エコインダストリー) 部会」、「交通 (エコトラフィック) 部会」、「生活 (エコライフ) 部会」、「自然 (ピオトープ) 部会」という 4 つの作業部会で豊中アジェンダ 21 の策定にむけて各種の行動と提案をおこなっていきます。

これは、環境庁が進めている「地球温暖化を防ぐ 4 つのチャレンジ」の内容を具体化したものともいえます。

いずれの部会も、毎月 1 回開催し、ディスカッション、ワークショップ、学習会、見学会などを通じて、豊中アジェンダ 21 の原案作成を進めていくことにしています。



また各部会とも、専門的見地から助言や提案をしていただくため、次の方々にアドバイザーをお願いしています。

産業部会は佐川直史さん (関西環境管理技術センター計画部次長)、交通部会は新田保次さん (大阪大学工学部助教授)、自然部会は辻本智子さん (辻本智子環境デザイン研究所長)、生活部会は弘本由香里さん (大阪ガスエネルギー文化研究所客員研究員) です。

なお、作業部会は公開でおこなわれますが、参加を希望される場合は、事前に環境課 (858-2106) までご連絡ください。希望者が多数の場合は抽選とすることもあります。

(2) 4つの作業部会

豊中アジェンダ 21 は、机上の議論だけでなく、実際に行動してみて、そこから得られた体験や教訓を計画づくりに反映させ、また話し合いのなかで生まれたアイデアや提案をもとに実際に取り組みながら、計画の原案を作成していきます。

各部会の役割と概要は以下のとおりです。

① 産業 (エコインダストリー) 部会

産業部会のテーマは、環境に配慮した低負荷型の産業活動のあり方を考えていこうというものです。

具体的な行動としては、ヨーロッパをはじめ、国内においても現在企業で導入がすすめられている環境監査システム (ISO14000) の普及促進や、オフィスでのエネルギー使用量やごみの量を減らす「エコオフィス運動」、環境に与える影響ができるだけ小さい製品の優先的購入をする「グリーン購入」などが考えられます。

経済効率だけでなく地球環境を守るような商品や技術を開発していこうとする企業にとって、この部会は新たなビジネスチャンスとなるかもしれません。

② 交通 (エコトラフィック) 部会

環境に配慮した交通システムや自動車の使い方などについて考えようというのが、交通部会のテーマです。

地球温暖化の原因である二酸化炭素の排出を少しでも減らすため、自動車に乗るときはできるだけ不要なアイドリングをやめる「アイドリングストップ運動」や、自動車よりも公共交通機関の利用をうながし市バスや鉄道の共通定期券である「地球環境定期券」、自動車通勤の自粛、電気自動車やハイブリッドカー等の低公害車の利用促進などが考えられます。

③ 生活 (エコライフ) 部会

日常の身近なところから、私たちの生活を見直し、環境に配慮した暮らし方について考えていこうというのが生活部会のテーマです。

具体的な行動として、地球温暖化の原因である二酸化炭素が家庭からどれだけ排出されているかをチェックしながら、エネルギーや家計の節約にもつながる「環境家計簿」を作成・普及したり、地球環境や資源節約のことを考えるかしい消費者になろうとする「買い物袋の持参」運動や「レジ袋の有料化」の検討などが考えられます。

④ 自然 (ビオトープ) 部会

地域ぐるみで生態系に配慮した自然環境を創造したり、身近な自然環境を大切に自然との交流の場をつくっていかうとするのが自然部会のテーマです。

自然観察会やタウンウォッチングをつうじて、市内の自然や歴史資源を再発見し、得られた情報をもとに「環境マップ」をつくったり、地域の人々といっしょになって生き物の豊かな空間を復元・創造する取り組みを進める「グランドワーク」活動などが考えられます。

豊中アジェンダ21を考えるための資料集 (リーフレット) ができました!

豊中アジェンダ21づくりのための基礎的資料となるリーフレットを作成しました。お問合せは、環境課まで。



愛する子どもたちに、豊かな環境を!

豊中に住んでいる5年間で過ぎました。子どもたちは、桜井谷東小学校へ通っています。桜井谷東小学校は、豊中の中でも自然に恵まれた環境のなかにあります。

春には、一年生が校庭のすみの竹やぶで、タケノコ掘りを体験します。掘ったタケノコを先生が煮てくださり、一年生で食べるのが恒例となっています。環境破壊が進む昨今、あと何年この楽しい行事がつづくかしら?と、ふと不安に思います。

「地球の環境を守るために……何か、やりたいな」って、お母さんたちは思っているんです。でも、何をすればいいかしら?

便利で快適な暮らしは、とても豊かにみえます。そのむこうで、目にみえない環境破壊が進んでいるなんて…

早く気づいて、できることを見つけて、はじめたいですね。

私は「一滴の水、でも一滴の水がなければ大海もないでしょう」と言ったマザーテレサの言葉を思い出します。

とても果てしなく気が遠くなるようですが、私はこの言葉にとっても感動してしまったのです。自分ひとりだけ気をつけたって、がんばったって、どうせ無駄だわ…なんて思っちゃダメ。そんなふうに思ったら、この一滴の水さえにもなれないでしょう。一人ひとりが一滴の水になって、次の時代の担い手である、愛する子どもたちに、豊かな環境を残してあげましょよ。

小さなことでもあきらめないで、何かを始めましょうね。そして、始めたら続けていましょね。

(育ち盛りの子をもつ二児の母、少路在住)



平成9年度 とよなか市民環境会議 総会

第1部 総会

今年度の活動方針決まる！

平成9年度「とよなか市民環境会議」の総会が6月24日（火）、豊中市民会館で開催されました。総勢238名が出席し、平成8年度の活動経過が報告されました。

また、平成9年度の活動方針がつぎのように決定されました。

《基本方針》

(1) 市民・事業者・行政それぞれがその立場における地球環境問題についての主体的責任を自覚し、ただちに自主的に行動することを通じて、相互の理解を深め、信頼と連帯の関係をつくる。

(2) ローカルアジェンダにもとづく市民・事業者・行政の共同行動を企画し推進するとともに、それぞれの取組みの相互交流、相互支援を推進する。

《活動計画》

1. とよなか市民環境会議総会及び記念講演を国際環境月間（6月）におこないます。
2. 「豊中アジェンダ21」の策定に向けて、次の取り組みを進めます。
 - ①豊中環境塾の開催
 - ②市民・事業者アンケートの実施
 - ③アジェンダ策定作業部会の設置
3. 環境展'97を開催します。
4. 事業活動や日常生活の身近なところから、資源エネルギーの節約と効率的な利用、廃棄物の減量に努力します。

第2部 記念講演（豊中環境塾）

第2部では、市民会議発足1周年記念として、市民会議のコーディネーターである盛岡通さんによる講演がありました。

『ローカルアジェンダ21とパートナーシップ』
講師：大阪大学工学部教授 盛岡通さん
(とよなか市民環境会議コーディネーター)

講演より抜粋

(中略)

150団体を網羅した皆さん方のような組織の場合には、全体を担うということでもなくともかまわない。ワーキンググループだけでもよいからニュースを発行する。

自分たちのグループだけの情報を出したり、子どもたちのつどいの様子をそのなかに紹介したりするなど、自主的な試みを広報、メディアの部分でも発揮していただけないだろうかと思えます。

環境づくりのテーマは、場合によっては小さな身近なものからスタートしてよいのではないかと。

共同作業ができそうで、その提案が比較的周りから好意的な目でみられそうなものをえらんでやってよいだろう。初めから波風が立ちそうなテーマまで取り上げてやる必要はないかもしれない。

その際、可能な限り専門家や自治体職員が積極的に参加し、環境部局だけではなく他の部局の方も参加できる。そして、できることなら他の事例の見学会、学習会をすとか、他の市まで出かけていとか、地域・団体の役割分担みたいなものを考えてみるなど、まさに「考えるプロセス」が大事です。



ですから、ワークショップは、結果ではなく、一緒に学び合ったという経験が信頼関係につながる。その信頼関係が、問題が起こったときに、あるいは新しい何かに取り組もうとしたときの最も大事な人的なつながりになる。

何かワークショップをやったときに、ある人は「私の抱えているこの問題をどれだけ解決してくれたか」という目で発言される方がありませんが、それは間違いです。そういう場ではない。

ワークショップは皆が意見を分かち合い、「いろいろな人がいるな。自分と違う考え方の人がいるな」ということがわかるプロセスだから、まさにパートナーシップ型の組織運営には欠かすことができない。

ですから、自分の持っているものと違うものを分かち合って持ち帰る。

市民団体の中でゴミ問題を取り扱っておられた方が、自然保護団体の方の意見を伺って、同じ団体のゴミ、消費者問題を考えるグループの中に伝えて、こちらの中にも自然保護の重要性あるいは考え方を伝えていく。このことを事業者と市民との間の橋渡しという領域でもやっていただくと、事業者と市民とが別々ではなく、「ああいう考え方をしてるんだな」ということがわかってもらえるだろう。そういう場です。

これにはそれなりの周到な準備も必要ですが、決してむだな試みではないだろうと思います。

そういう試みを次々やっていると、私のような人間ではなく、まちの中にコーディネーターあるいはカウンセラーという方が必ず育ってきます。

私は大学の人間ですので、まず大学で教育するのが本分ですが、まちの中のことについては、まちの人たち自身がこのようなアドバイザーなりコーディネーターに必ず育ってきます。

環境塾は、そのようなインキュベーターというか、養成場というか、育てる場所であるというように考えていただきたいと思います。

将来的には、こういうトラストや非政府組織で法人的なものが欲しいとか、市民会議に一定の格が欲しいといった時代が来るとは思いますが、今すぐにやることではありません。

でも、世田谷あたりでは、まちづくりハウスと呼んだり、あるいはキャロットタワーと呼んでいますが、一定の建物を建てて、そこにつどいあうといった場所と組織、それから資金を用意できるようなところまで育っているところもあります。

できれば、環境アクションセンターというのは、ハコモノではなく、そういうソフトなしくみ、つながりが機能するような場所としてつくっていただければ、パートナーシップ形成

にきわめて重要な役割を果たすだろうと思います。

同じような気持ちをもつ人たちが集まってするのではなく、ちがった気持ちなり関心なり意識をもっておられる方のあいだをつなぐような組織として、ぜひお考えいただきたいと思いません。

(中略)

いろいろな議論する際、森とか自然を守るという話になったときに、それを行政の規制的行為、レギュレーションにお願いするのではなく、市民の参加によってそれを確保していくような方向性をぜひ選んでいただくのがポイントかと思えます。

まさに豊中市は市民環境会議による計画推進をされようとしています。

行事企画という点では環境展、広報・交流、それから調査研究、連携行動、この辺を皆さんがたは何をされるか。また、パートナーシップ組織が分野間とか、組織間とか、地域間とか、そういうことで何を交流のテーマに掲げられるか、この辺もぜひもう一度ご議論いただいたらいと思います。フェスティバルは、もう既に計画なされておられます。

全体としては、ここにお集まりでない方に対する関心をよびおこし、参画の糸口をつくることもあわせて考えていただきたいし、ここにお集まりの方々が中心になってローカルアジェンダ 21 の豊中版のプランをおつくりいただく、その内容を幅広く募集するというのも大事です。

そこには、専門的・行政的な意見も反映するわけですが、何を取り上げ、まとめていくかという議論が最も大事だと思いますので、私はワーキンググループの方々のこれからの活動に大いに期待したいと思っています。

できれば、その途中経過をニュースで発行していただき、他の方々の意見が再び反映されるようなしくみをおつくりいただけるとありがたいと思います。

(盛岡氏講演より抜粋)

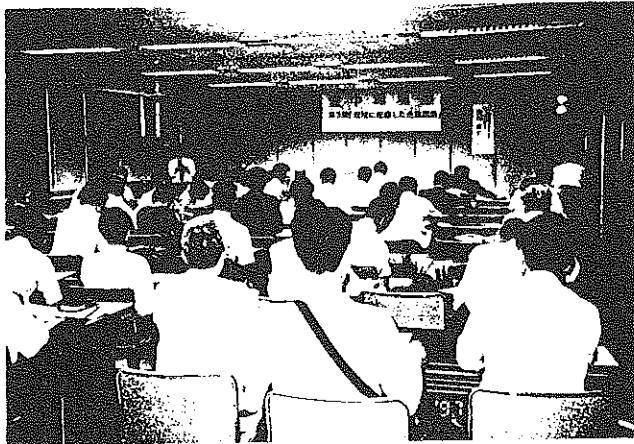


**「豊中環境塾」 盛況のうちに閉幕
のべ550人が参加!**

豊中市では、今年6月から8月にかけて、「豊中環境塾（全6回シリーズ）」を開催しました。

豊中アジェンダ21（地球環境を守るとよなか市民行動計画）づくりに向けて、市民や企業の参加のもとアジェンダ策定にむけて共通の認識と今後の展開について考えるため開催されました。

第1回目と第2回目は、地球環境問題の全般について、第3回から第6回目までは企業活動、交通、ライフスタイルなど個別テーマについての学習会がおこなわれました。のべ参加人数は、約550名でした。



1	日時：6月12日（木） 14:00～16:00 場所：市役所第2庁舎3階会議室 テーマ：『地球環境の現状と私たち』 講師：中野道雄さん （日本気象協会関西本部相談役）
2	日時：6月24日（火） 14:00～16:00 場所：市民会館大集会室 テーマ：『ローカルアジェンダ21とパートナーシップ』 講師：盛岡 通さん （大阪大学工学部環境工学科教授）
3	日時：7月10日（木） 14:00～16:00 場所：市役所第2庁舎3階会議室 テーマ：『環境に配慮した企業活動』 講師：佐川直史さん （関西環境管理技術センター計画部次長）
4	日時：7月24日（木） 14:00～16:00 場所：市役所第2庁舎3階会議室 テーマ：『環境に配慮した交通』 講師：新田保次さん （大阪大学工学部土木工学科助教授）
5	日時：8月2日（土） 14:00～16:00 場所：市役所第2庁舎3階会議室 テーマ：『環境に配慮した暮らし方』 講師：弘本由香里さん （大阪ガス エネギー・文化研究所客員研究員）
6	日時：8月25日（月） 13:00～17:00 現地見学会 豊中市伊丹市クワンダ（清掃工場） 原田下水処理場など

お知らせ

環境展'97

日時：平成9年12月6日（土）、7日（日） 10:30～16:30

場所：市民会館（阪急宝塚線「曽根」駅から東へ約300m、徒歩約4分）

入場料無料

ステージ

6日（土） 桂三歩の落語、腹話術、環境家計簿クイズ他

7日（日） リフォームファッションショー、南京玉すだれ他

展示・実演

- ・地球温暖化パネル・リサイクル工房店、紙すき教室
- ・リサイクル図書館、百景物語（俳句、油絵、切り絵など）
- ・もったいない市（ガレージセール）、自転車修理実演ほか



アンケート結果報告

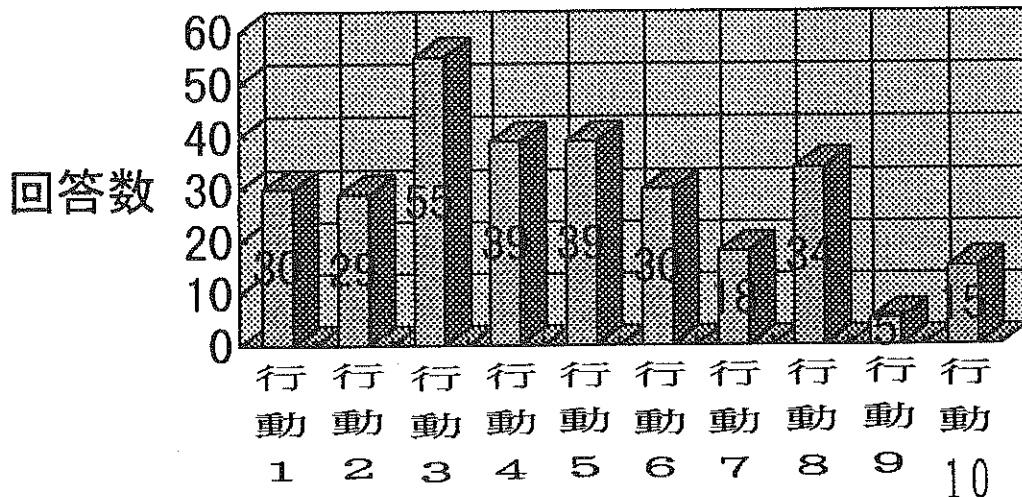
『地球にやさしいこと 何かひとつチャレンジしませんか?』

平成9年6月末から、とよなか市民環境会議の参加団体（150団体）を対象に、「地球にやさしいこと、何かひとつチャレンジしませんか?」と銘打って、団体として今後地球環境を守るためにチャレンジできる行動についてアンケート調査をおこないました。

アンケート結果をみると、やはり一番回答が多かったのが、「光熱水費とガソリン使用量の節約に努める」（回答数55）であり、全回答数の半数以上でした。つぎに多かったのは、「印刷物を再生紙に切り替える」（回答数39）と「ごみの減量、資源の回収、リサイクルに役立つような製造・販売・購入・回収を促進する」（回答数39）でした。

省エネやリサイクルに対する関心が高いことがうかがえます。一方最も回答が少なかったのは、「今後、ラワン材等熱帯材をつかった建材、家具、工事用型枠等の製造・販売・購入・使用を控える」でした。

図 アンケート結果



●行動の内容

- 行動1 会員（社員・職員）研修のテーマに地球環境問題を取り上げる
- 行動2 環境にやさしい商品（エコマーク）の購入（販売）を促進する
- 行動3 光熱水費とガソリン使用量の節約に努める
- 行動4 印刷物を再生紙に切り替える
- 行動5 ごみの減量、資源の回収、リサイクルに役立つような製造・販売・購入・回収を促進する
- 行動6 通勤・通学・買い物などでのマイカー通勤、7ドリング・ストップ運動を促進する
- 行動7 土地管理者自ら（又は土地管理者と協力して）公有地、民有地の緑化、花壇化、ピオトープづくりを進める
- 行動8 河川・道路・公園・町内・自己所有地の美化清掃活動を行う
- 行動9 今後、ラワン材等熱帯材を使った建材、家具、工事用型枠等の製造・販売・購入・使用を控える
- 行動10 環境問題に取り組むための専門の役員（委員会）を設置する

豊中アジェンダ21策定作業部会のスケジュール

豊中アジェンダ21(地球環境を守るためのとよなか市民行動計画)づくりに向けて、生活部会、交通部会、企業部会、自然部会の4つの部会では、それぞれ毎月1回、下記のとおり作業部会を開催していきます。

ふるってご参加ください。

(日時・場所等は、予告なしに変更することもありますので、事務局まで確認してください。)

10月

● 14日(火)午後3時~5時
場所:市民会館第2会議室
第2回 産業(エコインダストリー)部会

● 18日(土)午後1時30分~
市内ウォーキング(観察会)
集合場所:市役所第2庁舎1階ロビー
第2回 自然(ピオトープ)部会

● 25日(土)午後1時30分~3時30分
場所:消防本部3階会議室
第2回 生活(エコライフ)部会

11月

● 7日(金)午後4時~6時
とよなかのまちを歩いてみよう
集合場所:阪急豊中駅東改札口外
第2回 交通(エコトラフィック)部会

● 15日(土)午後1時30分~
見学会(生き生き地球館、NEXT21など)
集合場所:市役所第2庁舎前
第3回 生活(エコライフ)部会

● 19日(水)午後3時~5時
場所:市民会館第1会議室
第3回 企業(エコインダストリー)部会

● 21日(金)午後6時30分~8時30分
場所:市役所第1庁舎2階会議室
第3回 自然(ピオトープ)部会

12月

● 4日(木)午後3時~5時
場所:水道局4階会議室
第3回 交通(エコトラフィック)部会

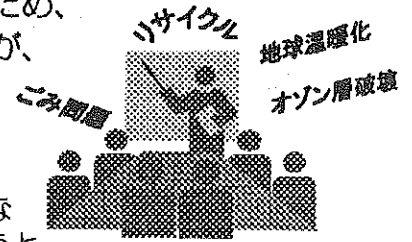
● 12日(金)午後6時30分~8時30分
場所:市役所第2庁舎3階会議室
第4回 自然(ピオトープ)部会

● 13日(土)午後1時30分~3時30分
場所:市民会館第2会議室
第4回 生活(エコライフ)部会

● 17日(水)午後3時~5時
場所:市民会館第1会議室
第4回 産業(エコインダストリー)部会

かんきょう講座を出前します!

地球の未来を守るため、
エコキャラバン隊が、
あなたのところへ
出向きます!



将来の世代に豊かな環境をつたえていこうと、「とよなか市民環境会議」の若手メンバーである大学生らによって、エコキャラバン隊が結成されました。

地球環境問題や身近な環境問題などについて考えてみたい

- 自治会、町内会、PTAなどの集まり
- 会社(社員研修など)
- 小学校、中学校、高等学校、専門学校など
- 親しい仲間、クラブ、サークルなどの集まりなど

へ、私たちキャラバン隊が直接出向いていき、出前講座(出張)をいたします(もちろん無料)。お気軽にお問い合わせください(日時や内容等は要相談)。

【お問合せ先】とよなか市民環境会議事務局 佐藤
(豊中市生活環境部環境課内)
TEL:06(858)2106 FAX:06(842)2802

豊中アジェンダ21・シンポジウムのご案内

1. 日時:平成9年12月6日(土)
午後2時~4時30分
2. 会場:中央公民館1階集会室
3. テーマ:「地球環境を守るための新たな挑戦」
第1部:アジェンダ作業部会の取組報告
第2部:パネルディスカッション
コーディネーター 盛岡 通さん
パネラー 各作業部会アドバイザー

編集室から

やっとのことで、ニュースレター第3号をだすことができました。今回は、盛りだくさんの内容になりました。これからも、第4号、第5号、...と出していきたいと思いますので、ボランティアで編集のお手伝いをしていただける方を募集します。また地域や企業で取り組まれている環境に関する情報提供もお待ちしています。

ニュースレター編集 佐藤

発行:とよなか市民環境会議
事務局:豊中市生活環境部環境課内
編集責任:豊中市生活環境部環境課長
〒560 大阪府豊中市中桜塚3-1-1
TEL:06(858)2106 FAX:06(842)2802

★とよなか市民環境会議は、市民・企業・行政のパートナーシップ組織です。